

温泉宿泊施設の民間活用に向けた意見・提案募集（サウンディング型市場調査）

に関する質問書への回答

令和8年6月29日

東成瀬村企画課

質問事項	内 容
<p>【露天風呂・外気浴の新設可否について】 上記について構造情報、ゲレンデ側の地盤情報等。また現段階で新設可否について方針等あればご教示いただきたい。</p>	<p>ホテルブラン浴場が2階であること、また、ゲレンデ側にはすぐ近くに第1ペアリフトが設置されていることから、現状の構造・配置では露天風呂・外気浴の新設は不可であると考えております。</p>
<p>【温泉、設備改修における村のスタンス】 開示可能であれば温泉資源の権利、湧出量の情報について。 またボイラー等改修の対する村の負担範囲についてベースライン等あればご教示いただきたい。</p>	<p>温泉源泉施設(やまゆり温泉)は村所有であり、湧出量は毎分200ℓとなっています。 ボイラー等改修は村で実施する見込みです。 (全額村負担)</p>
<p>【財務、人員に係るデータ】 これまでの指定管理料の実績、第三セクター職員の処遇方針について。 その他、年間除雪費用について可能な範囲で情報開示いただきたい。</p>	<p>【指定管理料】(過去5年間) 令和3年度 12,200,000円 令和4年度 12,200,000円 令和5年度 12,200,000円 令和6年度 14,000,000円 令和7年度 42,492,000円※ ※昨年度より、第三セクターの経営改善と累積赤字解消に向けて指定管理料を増額しております。この指定管理料は、一定期間後に見直しを行うこととしております。</p> <p>【職員の処遇方針(人員構成)】 参考として、H28年度(コロナ前、単年度黒字決算)と現在の職員状況をお知らせします。 H28:54名(社員、パート) ※派遣不明 R08:25名(社員、パート)、19名(派遣、短期含む)</p> <p>【年間除雪費用】 ホテルブランの先まで村道認定路線であり、スキー場駐車場を含め除雪は村で実施しているため、施設管理者で費用負担はありません。</p>

<p>【周辺施策との連携について】</p> <p>ダム観光連携、なるテックとの連携など村の方針として現時点で検討されているものはあるか？</p> <p>また施設整備等における村として活用を想定する補助制度について現時点で検討中のものがあればご教示いただきたい。</p>	<p>成瀬ダム完成後を見据え、今月初めに「東成瀬村観光未来プロジェクト」を設立しております。このプロジェクトは、地域資源の磨き上げ、効果的な情報発信の強化と官民が連携しながら新たな観光戦略の構築を進めるものであります。</p> <p>なるテックについては、第三セクターの経営戦略支援において連携して取り組んでおります。</p> <p>施設整備における補助制度の活用については、新設か改修か、また、管理運営方法が公設民営か民営化によって手法が異なりますので、整備方針が未定である現時点では、具体的な活用事業は検討しておりません。</p>
--	---